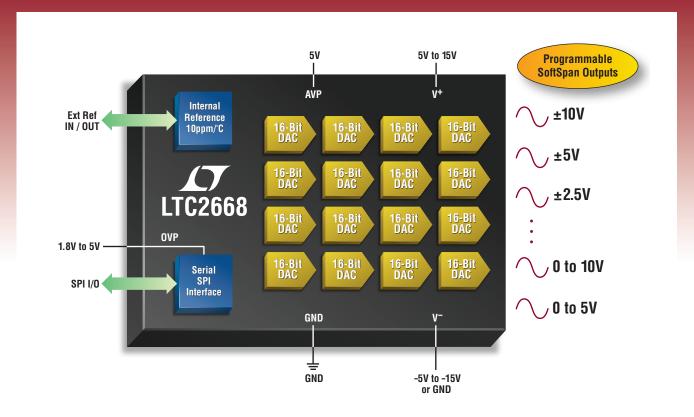
6×6 QFNパッケージに収めた 16ビット、16チャネルDAC



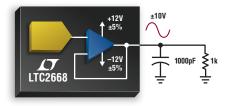
±10mA または、1000pFをドライブする出力バッファ

LTC®2668-16は16個の電圧出力DACを備えており、±10Vまでの5種の出力電圧範囲をソフトウェア(SoftSpan™)またはピンで設定することができます。各出力スパンはチャネルごとに個別に選択可能です。分解能は全てのスパンでフル16ビットです。高電圧、レール・トゥ・レール出力アンプは10mAをソースまたはシンクすることができ、1000pFまでの負荷に対して安定して動作します。この他の特長として、較正や回路の完全性のモニタのための内蔵16:1アナログ・マルチプレクサ、2つのDACコードの間をDACが高速でトグルできるようにするトグル機能を備えています。

▼ 特長

- 16ビットおよび12ビット・バージョン (16ビットで±4LSB INL)
- 内蔵高精度リファレンス:10ppm/°C(最大)
- プログラムまたはピンストラップで 設定可能な5種の出力範囲: 0V~5V、0V~10V、±2.5V、±5V、±10V
- 柔軟な単電源または両電源動作
- 内蔵16:1アナログ・マルチプレクサ
- · -40°C~+125°C動作

バッファ付き電圧出力



▼ 詳細および無料サンプル

www.linear-tech.co.jp/product/LTC2668



video.linear-tech.co.jp/4523

グ、LT、LTC、LTM、Linear Technology およびLinear のロゴはリニアテクノロジー社の登録商標です。SoftSpan はリニアテクノロジー社の商標です。その他全ての商標の所有権は、それぞれの所有者に帰属します。

